



# 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月2日

上場会社名 カシオ計算機株式会社  
 コード番号 6952 URL <https://www.casio.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 樫尾 和宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 高野 晋  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03-5334-4852

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	201,193	3.6	16,490	17.7	17,013	18.2	12,235	17.4
2022年3月期第3四半期	194,211	16.7	20,042	80.0	20,802	78.3	14,820	47.2

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 13,907百万円 (13.1%) 2022年3月期第3四半期 15,999百万円 (78.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	51.11	
2022年3月期第3四半期	61.08	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	337,282	219,856	65.2
2022年3月期	337,275	218,897	64.9

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 219,856百万円 2022年3月期 218,897百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.50		22.50	45.00
2023年3月期		22.50			
2023年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2023年3月期の配当予想額は未定であります。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	4.2	18,000	18.2	18,500	16.6	13,000	18.2	54.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料P.7「会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	249,020,914 株	2022年3月期	249,020,914 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	9,801,230 株	2022年3月期	8,208,844 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	239,366,901 株	2022年3月期3Q	242,632,242 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、2022年11月9日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 2.決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における内外経済は、各国が新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を志向する一方で、エネルギー価格の高騰やインフレの加速に加え、不安定な為替相場など、先行き不透明な状況が続いております。

この環境下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、時計が1,210億円、コンシューマが652億円、システムが108億円、その他が40億円で、前年同期比3.6%増の2,011億円となりました。

時計は、中国において消費マインドの低下が見られましたが、「G-SHOCK」の「MR-G」やフルメタルモデル『GM-B2100』、『GMW-B5000』などのプレミアムジャンルが伸長し、グローバルで人気を博すなど、売上高は微増となりました。

教育は、電子辞書は国内で販売会が中止されるなど継続してコロナ影響を受けましたが、関数電卓は対面授業が再開したことに伴う需要の取り込みや、新機種 of 拡販が進み、増収となりました。楽器は、「Slim & Smart」の高価格帯モデルが好調に推移しましたが、ロシア・東欧向け販売減の影響などにより、減収となりました。

システムは、前期受注案件の納入が進み、増収となりました。

営業利益は、時計が202億円、コンシューマが39億円、システムが△21億円、その他が2億円、調整額が△58億円で164億円となりました。

また、経常利益は170億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は122億円、1株当たり四半期純利益(EPS)は51円11銭となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産の増加、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末比横ばいの3,372億円となりました。純資産は、前連結会計年度末比9億円増加の2,198億円となりました。その結果、自己資本比率は65.2%となりました。

当グループは今後も引き続き事業資産の効率的運営の徹底を図り、安定的かつ強靱な財務体質の構築に取り組みます。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の世界経済は、今後も中国におけるコロナ影響の継続や、一部地域におけるインフレの影響など、景気減速のリスクが残ります。

このような事業環境の下、2023年3月期の連結業績予想につきましては、時計・コンシューマ・システムの販売計画の見直しにより、売上高を2,750億円から2,630億円に下方修正いたします。

営業利益は、全社構造改革の効果や経費効率化、及び売価適正化等の取り組みでカバーするものの、販売計画の見直しに伴う売上減などにより、240億円から180億円に下方修正いたします。

営業利益の修正に伴い、経常利益は、250億円から185億円に下方修正、親会社株主に帰属する当期純利益は175億円から130億円に下方修正いたします。

#### (注) 業績見直しについて

①為替水準は1US\$=140円、1ユーロ=140円を想定しております。

②業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	98,093	86,946
受取手形及び売掛金	27,825	28,634
電子記録債権	1,190	1,149
有価証券	37,000	42,000
製品	44,829	48,485
仕掛品	5,704	7,185
原材料及び貯蔵品	10,284	12,664
その他	6,462	7,019
貸倒引当金	△619	△492
流動資産合計	230,768	233,590
固定資産		
有形固定資産		
土地	33,046	33,088
その他(純額)	24,339	24,330
有形固定資産合計	57,385	57,418
無形固定資産		
	9,920	10,332
投資その他の資産		
投資有価証券	16,496	10,016
退職給付に係る資産	15,849	16,595
その他	6,885	9,359
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	39,202	35,942
固定資産合計	106,507	103,692
資産合計	337,275	337,282

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,235	18,950
短期借入金	235	231
1年内返済予定の長期借入金	8,000	33,500
未払法人税等	2,429	3,981
製品保証引当金	720	720
事業整理損失引当金	—	51
事業構造改善引当金	1,082	1,012
その他	39,965	37,361
流動負債合計	71,666	95,806
固定負債		
長期借入金	41,500	16,000
事業整理損失引当金	—	394
事業構造改善引当金	320	20
退職給付に係る負債	653	667
その他	4,239	4,539
固定負債合計	46,712	21,620
負債合計	118,378	117,426
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,592	48,592
資本剰余金	50,137	50,123
利益剰余金	124,416	125,850
自己株式	△12,263	△14,396
株主資本合計	210,882	210,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,626	1,717
為替換算調整勘定	3,705	6,994
退職給付に係る調整累計額	1,684	976
その他の包括利益累計額合計	8,015	9,687
純資産合計	218,897	219,856
負債純資産合計	337,275	337,282

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	194,211	201,193
売上原価	108,701	114,748
売上総利益	85,510	86,445
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	23,133	25,423
その他	42,335	44,532
販売費及び一般管理費合計	65,468	69,955
営業利益	20,042	16,490
営業外収益		
受取利息	291	656
為替差益	473	—
その他	358	300
営業外収益合計	1,122	956
営業外費用		
支払利息	159	189
為替差損	—	1
その他	203	243
営業外費用合計	362	433
経常利益	20,802	17,013
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	100	1,853
特別利益合計	103	1,854
特別損失		
固定資産除却損	15	12
事業整理損	—	2,603
特別損失合計	15	2,615
税金等調整前四半期純利益	20,890	16,252
法人税等	6,070	4,017
四半期純利益	14,820	12,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,820	12,235

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	14,820	12,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△684	△909
為替換算調整勘定	2,451	3,289
退職給付に係る調整額	△588	△708
その他の包括利益合計	1,179	1,672
四半期包括利益	15,999	13,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,999	13,907
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年2月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,237百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース」の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、ASU第2016-02号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。当該会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他(純額)」が398百万円、流動負債の「その他」が118百万円及び固定負債の「その他」が286百万円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	時計	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	119,909	60,521	9,647	4,134	194,211	—	194,211
(2) セグメント間の内部 売上高	—	0	41	6,046	6,087	△6,087	—
計	119,909	60,521	9,688	10,180	200,298	△6,087	194,211
セグメント利益 又は損失(△)	24,306	4,937	△1,864	238	27,617	△7,575	20,042

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,575百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△7,575百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	時計	コンシューマ	システム	その他	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	121,068	65,281	10,813	4,031	201,193	—	201,193
(2) セグメント間の内部 売上高	—	—	24	4,634	4,658	△4,658	—
計	121,068	65,281	10,837	8,665	205,851	△4,658	201,193
セグメント利益 又は損失(△)	20,292	3,991	△2,151	227	22,359	△5,869	16,490

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△5,869百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△5,869百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社管理部門に係る費用並びに基礎研究に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。